





京都五山第二位相国寺の総門

国は宰相を中国では相國といふ。中國の影響を受けたわが國でも、太政大臣等を同様の呼称で呼ぶようになつた。

京都御所今出川御門の北にある相国寺も、足利三代將軍に次ぐ格式に列位され、更に中國の制度になつて僧録司を置き、禪宗寺院を統括したことからも、相国寺がいかに重んじられたかがわかる。

相国寺は十年の月日をかけて明徳三年(三九二)に完成し、勅使門、三門、仏殿、重塔(約八メートル)をも高さ百メートルにも及ぶ七重塔も建立されている。王朝の昔、岡崎最勝寺にあった九重塔(約八メートル)をもしげる大塔であった。しかし、この塔は落雷のためわずか四年で焼失した。その後一度再建されたが、文明二年(四七〇)に再び全焼。現在は町名などその痕跡を留めるのみである。「塔の段町」と呼ぶ。伽藍も「の亂」ですっかり焼失した。応仁元年(一四六

八日出発、青函トンネル海底駅と江差、函館、下北半島(七月二十九日出発)、おわり

三十六年目を迎える、財団法人全国修学旅行研究協会の教育研修企画主催による夏季教職員研修旅行は、四月早々から各都道府県ごとに申込受付を行ってきたが、北行きに人気が集中しており、特に東北四大祭は八回設定したが全くほぼ満員となっている。他に、北海道一周(七月二十七日出発)、利尻・礼文と宗谷岬(八月一日出発)、青函トンネル海底駅と江差、函館、下北半島(七月二十六日出発)の各回が満員となっている。

また、北海道一周(七月二十八日出発)、青函トンネル海底駅と江差、函館、下北半島(七月二十九日出発)、おわり



承天閣美術館は信長展開催

法堂と一直線に並ぶ典型的な法堂と、豊臣秀吉の「鷦鷯梅」の林光院や、「雁の寺」の瑞春院である。

七) 十月には、世に「相国寺合戦」といわれる程激戦地になつた所である。

豊臣秀頼による再建後も、元明の大火(一七八八年)で法堂を残して灰烬に帰した。

門、仏殿はその後再建されていません。法堂(重文)は桃山文化を伝える禅宗伽藍の貴重な遺構で、現在、平成の大修理が行われている。

創建六百年の記念事業として昭和五十八年(一九八三年)に建てられた承天閣美術館

相国寺北門を抜けると、上

寺)では、来年四月一日から

参拝志納料及び参拝時間を次

のとおり改定する。

参拝志納料(高校生以上300円→400円、小・中学生200円↓)

風の盆(八月二十五日出発)、山陰一周(七月二十九日出発)の各回も定員まだあと数名という状況である。

全修協の教職員研修旅行は

昭和三十一年夏休み、北海道一周を実施以来、その年で三十六年目を迎えて、その

伝統と実績は、広く教育現場において、専門学者や郷土史研究家など、学識経験者を地に対する講師とする研修行事を設定し

る。更に各都道府県教育委員会や校長会等の後援、現職参加者に対する職専免の扱い、旅

務所092-741-0333、大阪事務局06-202-6500、名古屋事務所052-262-1971、九州事務所03-3326-2933、

500名、各部門三名

の間に撮影されたもの

○部門=京都を題材とした写

真で、本年四月から十二月

○発表=「旅とレジャー」の情報

第3回フォトコンテスト

撮っておきの京都

京都・北山の鹿苑寺(金閣寺)

寺)では、来年四月一日から

参拝志納料及び参拝時間を次

のとおり改定する。

参拝志納料(高校生以上300円→400円、小・中学生200円↓)

寺)では、来年四月一日から

参拝志納料及び参拝時間を次